

# とよみなみ



令和5年1月31日  
豊玉南小学校より

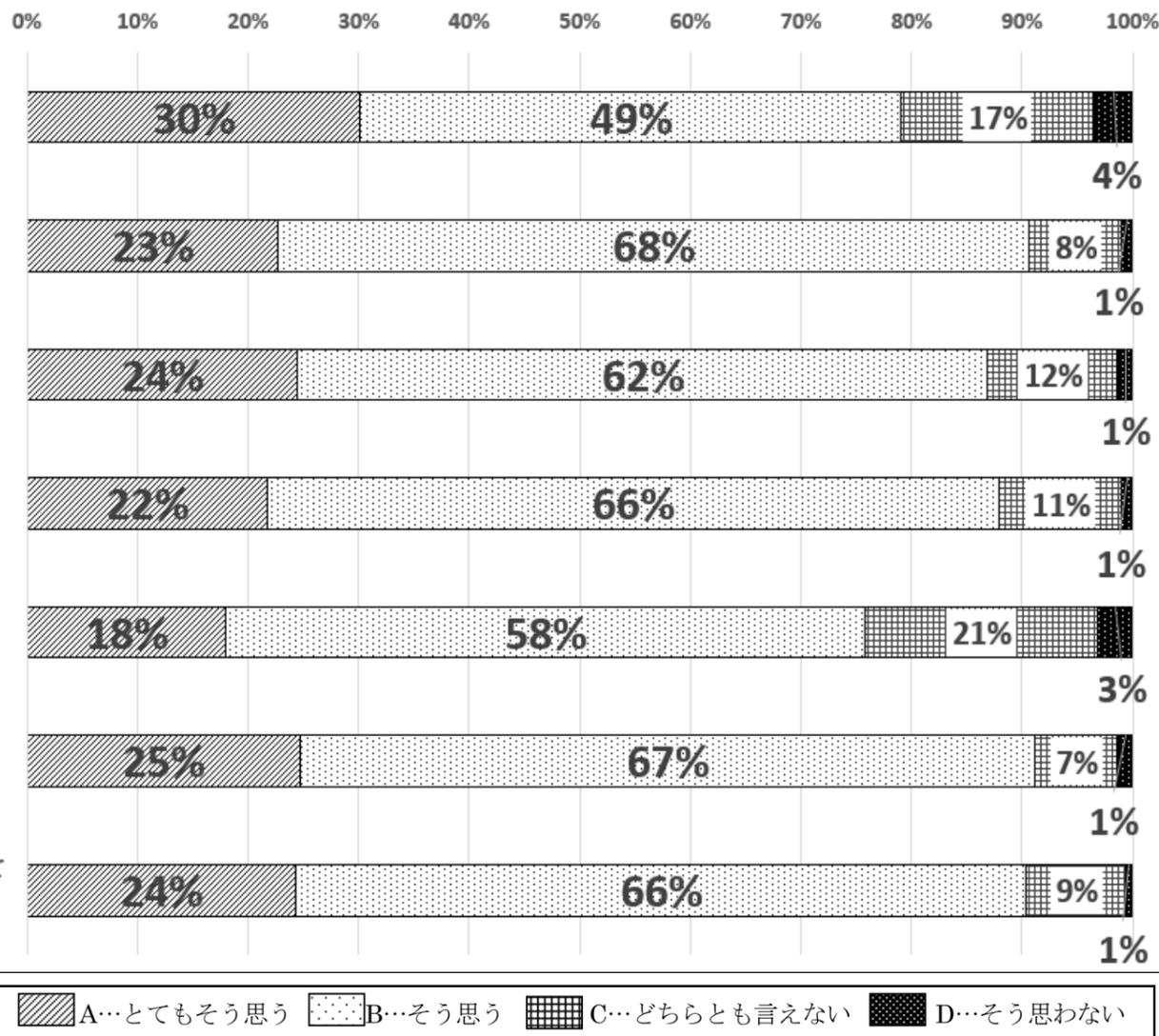
令和4年度 学校評価特別号

## 令和4年度 教育活動アンケート 集計結果報告

アンケートのご協力ありがとうございました。

昨年度から、GoogleForms を利用してオンラインでの回答をお願いしています。昨年度は回収率が87%で、紙面で実施していたころよりも回収率が下がっていましたが、今年度は回収率が**94.8%**と多くのご回答をいただくことができました。全体的な傾向を把握し来年度に向けて教育活動に生かしてまいります。また、自由記述欄にも様々なご意見をいただきました。児童がよりよく学び、安心して生活できる学校づくりのために、次年度以降の教育活動の参考にさせていただきます。以下、4段階でご回答いただいた項目についてグラフにまとめました。

### 令和4年度 教育活動アンケート（保護者用）



【問1】子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。

【問2】学校は、子供たちに基礎・基本をしっかりと教え、思考力・判断力・表現力が身につく指導を行っている

【問3】学校は、子供たちがお互いを理解し合い、学び合える関係作りに努力している。

【問4】学校は、健康的な生活習慣を育み、体力を高めるための指導を行っている。

【問5】学校は、子供たちの声に耳を傾け、一人一人に応じた適切な指導を行っている。

【問6】学校は、基本的な生活習慣や挨拶など、規律ある生活態度の指導を行っている。

【問7】学校は、保護者や地域と連携して子供の教育にあっている。

【問4】学校は、健康的な生活習慣を育み体力を高めるための指導を行っている。

コロナ禍で始まった日々の検温により、子供たちの健康に対する意識が高まりました。その上で、養護教諭が行う保健指導や保健体育での健康学習（3年生以上）、各学級での日常的な健康教育などにより、正しい知識を身に付け、自己の体調を意識して生活できるように指導しています。6月に実施した体力調査では、「ソフトボール投げ（投の運動）」「20mシャトルラン（持久力）」に課題が見られました。学校では、元プロ野球選手を招聘しての投げ方教室を1年生で実施し、1月にはマラソン旬間を実施しました。子供たちが日常的に運動に親しめるように取組を工夫し、引き続き健康の保持増進と体力向上に努めてまいります。

【問5】学校は子供たちの声に耳を傾け、一人一人に応じた適切な指導を行っている。

肯定的な回答が76%と最も低い回答割合となり、学校として大きな課題と感じています。全校児童一人一人の声に耳を傾けられるよう、担任をはじめ専科の教員、養護教諭、特別支援教室の巡回指導教員と職員全員で子供たちを見守る指導体制を整えていきます。5年生はスクールカウンセラー、3年生は心のふれあい相談員による全員面接を行い、子供たちが不安や悩みを打ち明けられる機会も設定しました。今後も児童一人一人の声に傾聴・共感する姿勢を大切に、個に応じた適切な指導を工夫してまいります。

【問6】学校は基本的な生活習慣やあいさつなど、規律ある生活態度の指導を行っている。

92%の保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。本校では、ここ数年「あいさつ」を課題として捉え代表委員会を中心に「あいさつ運動」に取り組んできました。毎週的生活目標を意識させ、道徳や保健の学習を中心に自己の生活を振り返る活動も行っています。挨拶や生活習慣につきましては、ご家庭の協力も改善の大きな要因であると考えています。今後もより一層、地域やご家庭と協力して取り組んでまいります。

【問7】学校は保護者や地域と連携して子供の教育に当たっている。

保護者・地域の皆様には、今年度も様々な場面でご協力をいただきました。キャリア教育や大根の栽培など地域の力を積極的に教育活動に取り入れています。また、音楽学習発表会は初めての開催でしたが、PTAの役員の皆様をはじめお手伝いの保護者の皆様のご協力のおかげで、子供たちが充足感を得られる行事となりました。今年度は、トミーズまつりやふれあい広場など地域と連携しての行事も実施することができました。今後も皆様と一緒に教育活動を進めてまいります。

【問1】子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。

昨年度は83%の保護者の方々から肯定的な回答をいただきましたが、今年度は79%となりました。全7問の質問項目の中でも、「そうは思わない」と回答した割合が最も高く4%となっています。学校の楽しさは「友達と仲良かかわる」「学びの楽しさを味わう」ときに実感することが多いと考えています。引き続き学校では、友達とのかかわり方を学び、確実に学力を定着していけるように指導を工夫していきます。しかし、児童が楽しく学校に通うための大前提として、基本的な生活習慣の確立は欠かせません。ゲームに費やす時間がとても長い、夜更かしして朝から眠そうにしているといった状態では学校生活を楽しむことができません。

各ご家庭の協力を得ながら、児童相互のかかわりを大切にして魅力的な授業実践を重ね、誰もが楽しく通える学校づくりを進めてまいります。

【問2】学校は子供たちに基礎・基本をしっかりと教え、思考力・判断力・表現力が身に付く指導を行っている。

通年で実施している朝学習では漢字学習を行い、算数の習熟度別学習では、1年生から少人数指導を展開し、基礎・基本の定着を図っています。また、外部指導員の力を活用した補充教室（地域未来塾）を毎月実施し、夏季休業中にも補修学習を行いました。また、高学年の外国語の指導では、元中学校英語教師を講師として指導を進め、中学年では東京都の取組である「社会の力活用事業」により、元CAの外国語講師を招いて指導を展開してまいりました。各教科の学習では、ICT機器を活用し、より多くの児童と意見を交流できるようになり、多様な考え方にふれながら協働的に学習する授業展開が増えていきます。教職員の日々の指導改善の取組が90%以上の評価に表れ嬉しく思います。

【問3】学校は、子供たちがお互いを理解し合い、学び合える関係づくりに努力している。

3年生以上にQUアンケートを実施し、個々の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定し、よりよい学級集団づくりに活用しました。各学年の発達段階に応じた話し合い活動を計画的に行い、自分の言葉で伝えることや互いの考えを尊重することのよさを学んでいます。「考え議論する道徳」の授業改善により、多様な考えを認め、学び合える関係づくりを進めています。元気会の活動では、6年生を中心に異学年の児童同士が互いに思いやりの気持ちをもって活動することができました。